武蔵野市特別支援教育推進計画の体系（中間まとめ）

＊ここには、武蔵野市の特別支援教育推進計画のテーマ的な内容がはいります。

〔武蔵野市特別支援教育推進計画では、施策展開の４つの視点に基づき、１２の取組の方向を掲げ、その実現に向けた具体的な３７の推進事業を示しています。〕　☆は重点事業

Ⅰ　一人一人の幼児・児童・生徒の特別な教育ニーズへの対応の充実

１　校内における特別支援教育推進体制の整備と指導・支援の質の向上

- ①　校内委員会の機能充実
- ②　特別支援教育コーディネーターの資質向上（☆）
- ③　個別指導計画・個別の教育支援計画の作成・活用

２　専門家スタッフ等による学校支援の充実

- ①　各学校の特別支援教育を支援する専門家スタッフによる相談・指導助言の充実（☆）
- ②　教育相談の充実を図る派遣相談員・スクールカウンセラーとの連携による相談支援の充実
- ③　福祉分野との連携を図るスクールソーシャルワーカーの導入の検討
- ④　個別支援を中心としたサポートスタッフ・ティーチングアシスタント派遣の充実と人材支援対策の実施

３　特別支援学級等の充実と通常の学級支援

- ①　情緒障害等指導学級（通級）における指導・支援の充実（☆）
- ②　知的障害学級における指導・支援の充実
- ③　特別支援学級運営委員会についての指導の視点を取り入れた在り方の検討
- ④　特別支援教室における指導・支援の充実（☆）

４　管理職のリーダーシップの発揮と教員等の資質・専門性の向上

- ①　市独自の研修会の充実（☆）
- ②　学校のニーズに対応した校内研修会の実施
- ③　特別支援学級担任の専門性の向上

Ⅱ　理解促進への取組の充実

１　特別支援教育に関する理解啓発促進のための取組の充実

- ①　教育支援センターによる教育相談・情報発信の充実
- ②　母子保健事業を通じた保護者理解の促進
- ③　障害者福祉との連携を通じた心のバリアフリーの推進
- ④　特別支援学級における交流及び共同学習の促進
- ⑤　副籍事業の充実
- ⑥　特別支援教育を課題とした教育課題研究開発校による実践情報の発信（☆）

２　教育支援センターの支援機能の充実

- ①　教育支援センター機能の見直し（☆）
- ②　派遣相談支援の充実
- ③　幼稚園への巡回相談の実施

Ⅲ　新たな連携体制の整備

１　教育・医療・福祉による幼児・児童・生徒・保護者支援事業の推進

- ①　子育てや福祉部門など関係機関との連携の充実（☆）
- ②　学校医（精神科医）の学校訪問等による医療相談の充実
- ③　教育支援会議（仮称）の設置と個別の教育支援計画作成の支援（再掲）

２　教育機関と母子保健・子育て・療育の積極的連携による就学支援事業の推進

- ①　特別な支援が必要と思われる乳幼児に対する早期支援の実施
- ②　就学前機関と小学校との連携の充実

３　大学等との連携による研究・支援の充実

- ①　特別支援教育に関する共同・実践研究（☆）
- ②　支援人材等の学校派遣の充実

４　都立特別支援学校との連携によるエリアサポート事業の充実

- ①　特別支援学校のセンター的機能の活用

Ⅳ　特別支援教育推進のための基盤整備

１　特別支援学級等の整備

- ①　情緒障害等指導学級（通級）の適正配置の検討（☆）
- ②　情緒障害等指導学級（固定）の設置研究
- ③　知的障害学級（固定）のあり方の検討
- ④　特別支援教室の本格実施と事業の拡大（☆）

２　特別支援教育推進状況の評価・検証

- ①　特別支援教育推進委員会の見直し（☆）
- ②　特別支援学級設置校連絡協議会の充実